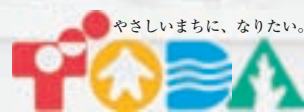


とだ議会だより



やさしいまちに、なりたい。

9月定例会

No.184

2014年(平成26年)11月1日

議会モニター募集 P19

上戸田福祉センターを閉館
地域交流センターを設置
P2

シルバースポーツ大会 (スポーツセンター)

主な議案	2
平成25年度決算を認定	5
委員会の審査から	6
そこがききたい(一般質問)	8
視察レポート	18
知っ toco クイズ当選者	18

*ホームページ

戸田市議会

検索

<http://www002.city.toda.saitama.jp/gikai/>

平成26年
9月
定例会
8月27日～
9月25日

上戸田福祉センターを閉館 地域交流センターを設置



主な議案

意見書

委員会の審査から

一般質問

委員会視察レポート

9月定例会は8月27日から9月25日までの30日間の会期で開かれ、48件の議案等が提出され、いずれも認定・可決・承認しました。議案等については、1つの報告、13議案に対し延べ33人の議員が質疑し、決算1件、議案2件及び請願3件に対して、延べ10人の議員が討論を行いました。

した。(請願の結果はP19参照)
また、4日間にわたる一般質問では、19人の議員が活発な論戦を展開しました。意見書については、議員提出議案として3件、委員会提出議案として2件の、計5件が提出され、いずれも可決しました。

主な議案

地域交流センター 条例

老朽化した上戸田福祉センターの再整備施設として、上戸田ふれあい広場に場所を移し、世代を超えて、誰もが利用しやすい地域の交流拠点を設置することに伴い、制定するものです。

A 複合施設として、各機能の事業連携を図り、横断的な施設サービスを提供するため、図書館分館の業務も含めて、1事業者による指定管理を考えている。

Q 上戸田福祉センターで実施している「青少年の居場所」事業は、
A 同事業は、青少年の交流の場として定着し、好評を得ていることから、地域交流センターにおいても継続を検討することが望ましい。しかし、平成27年度には「こどもの国」がオープン

ンし、体育館を含む複合施設ができることから、今後は、その利用状況を見ながら地域交流センターでの事業の方向性について検討したい。

Q 高齢者の集いやすい交流の拠点整備は、
A 高齢者が集いやすい交流の場として高齢者サロンや交流スペースとなる和室を整備する。そこでは、現状の「いこいの室」で実施されている事業の継続を含め、交流を促す仕掛けやきつかけづくりが重要と考えている。

Q 使用料は、どのように算出したのか。
A 光熱水費や減価償却費など施設の維持管理に係る費用を初め施設の運営に係る人件費という視点を加えた全体費用を算出した上で、延べ床面積、開館日数、開館時間を考慮し、本施設の1平米当たり1時間間の単価から、各諸室の専有面積に応じて使用料を算出した。



▲上戸田地域交流センター(愛称「あいふれ」)完成イメージ
公民館と図書館の複合施設(上戸田ふれあい広場に建設中)

Q 指定管理者の選考は、
A 質 疑

Q 指定管理者の選考は、
A 質 疑

Q 指定管理者の選考は、
A 質 疑



岡寄郁子議員

施設使用料の規定が大きく変わる。センター登録団体の減免制度をなくし、加えて市の行政改革プランの受益者負担の方針により、コストの6割を利用料として徴収するとしている。会議室は1時間2300円が4600円に、料理室は3800円が11800円になる。

日本共産党市議団は、センター活動団体として登録された団体の使用料を、中学生と同等の半額とするという修正案を健康福祉常任委員会に提案したが、賛同を得られなかった。6月から7月にかけて実施されたパブリック・コメントでも、多くが、使用料が高過ぎることについての意見であった。来年9月の開館までに、市として再度、利用者の声に真摯に耳を傾け、対応を図ることを強く求め



石井民雄議員

使用料は、戸田市行政改革プランの指針で示されている受益者負担の考え方に基づき提案をされた。使用料設定については、市民ワークショップの中で、さまざまな意見が交わされ、そうした声も反映された結果、設定されたものと考え、市の財政状況も厳しい中、利用者に対し応分の負担を求め、現在の利用団体のほか、新たに活動する利用団体等との公平性という観点からも、適正なものと考え、賛成する。

《結果》
原案可決(21対4)



図書館条例の
一部改正

上戸田福祉センターの閉館に伴い、同センター内にある図書館分室も閉室し、地域交流センターの開設に合わせて、新たに図書館分館として開設するため改正するものです。

Q 図書館分館とする×
A 現在の上戸田分室は床面積約207平方メートル、移設後は約540平方メートルと2.6倍になり、また、蔵書数も現在の約3万7千冊から約5万冊にふやす予定である。自動貸出し機を導入するなど充実を図り、利用者の利便性を向上させていく。

《結果》
原案可決(全員一致)



学童保育室条例の
一部改正

学童保育室の対象学年を小学校6年生まで拡大すること、また、学童保育室の保育料を改定するため改正するものです。

Q 保育料の算定根拠は、
A 第5次行政改革プランが示している学童保育料の受益者負担率40%に基づき、算定している。学童保育料は平成12年度以降改定されておらず、受益者負担率は平成12年度約36%であったものが、平成25年度には約26%となっている。これまで県の配置基準を上回る指導員の複数配置や特別支援学級の児童の加配など、サービスの向上を目指して

きた結果、主に人件費が増加したため。改定後の受益者負担率は約36・5%となる見込みである。



岡寄郁子議員

6年生までの拡大が位置付けられたことは、保護者の要望に応えるものであり評価できる。しかし、料金改定は受益者負担の方針に基づきコストの4割を求め、最高額の保育料は月額5500円から7800円へと一気に2300円も上昇する。賃金が増えず、消費税が8%に増税され家計の厳しさも増している中で、毎月の学童保育料の大幅な値上げは負担となる。

日本共産党市議団は、最も負担が大きくなる兄弟世帯の負担軽減を図るべきと、2分の子以降の保育料を元の1とする修正案を健康福祉常任委員会に提



峯岸義雄議員

現在、戸田市の学童保育料の最高額は、県内他市の中で最も低い額であり、改定後の最高額である7800円でも、県内平均額約5000円を下回った額である。市では、所得に対する所得税額や市民税額により9階層にして設定しており、改定後も減額措置を引き続き行っていることや、改定に際し低所得者への配慮もなされており、本案に賛成する。



酒井郁郎議員

市民からも多く要望のある、対象学年の全学年化を実現すること

主な議案

意見書

委員会の審査から

一般質問

委員会視察レポート

平成25年度決算を認定

健全

財政健全化判断比率はすべて

※千円単位は切り捨て

		平成25年度	前年度比
一般会計	歳入 (1年間の収入)	494億2,440万円	0.0%
	歳出 (1年間の支出)	474億9,362万円	1.7%増
特別会計	歳入	273億2,132万円	4.9%増
	歳出	255億9,440万円	3.5%増

(注) 特別会計は14会計の合計額です。

平成25年度決算 監査報告



「いずれも健全財政を堅持」

鶴森 代表監査委員

一般会計について、実質収支額は約17億1,800万円の赤字となっている。歳入は前年度と比べて約16,000万円の増。歳入の根幹である市税については、市民税、軽自動車税、市たばこ税、都市計画税において前年度と比べて増となっている。一方、歳出は、前年度と比べて約7億7,400万円の増となっている。

特別会計については、実質収支額は約12億1,100万円の赤字となっている。水道事業会計については、取

益的収支の純利益は、前年度と比べて約21,000万円の増となっている。資本的収支については、約10億6,400万円の不足となっており、損益勘定留保資金や減積積立金などで補てんされている。

水道事業の経営指標でもある有利率は93.9%で、前年度と比較して1ポイント下がったものの、いまだ高い水準を維持している。

審査の結果、一般会計、特別会計及び水道事業会計は、いずれも健全財政が堅持されていることを確認した。

水道事業会計

収益的収入	25億9,100万円
収益的支出	22億6,353万円
資本的収入	3,336万円
資本的支出	10億9,746万円

健全化判断比率

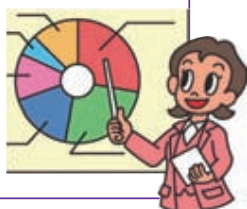
比率	名	25年度
実質赤字比率		(11.99)
連結実質赤字比率		(16.99)
実質公債費比率		3.8 (25.0)
将来負担比率		44.7 (350.0)

単位%

(注) ①()は早期健全化基準を示す。
②赤字額がないため、実質赤字比率と連結実質赤字比率は「-」表示となります。

◆健全化判断比率とは

自治体の財政状況を早期に把握し、破綻を防ぐこととして制定されたものです。



新曽第一土地区画整理事業特別会計 修正予算

スポーツセンター北西側でゲリラ豪雨による



平成25年度一般会計決算

議員の海外派遣事業は、これまでと同様に

本田哲議員



賛成討論

榎本守明議員

《結果》

認定(21対4)

《結果》

原案可決(21対4)

高く評価する。本案は保育料金の値上げを含むものとなっているが、戸田市の財政状況における予算を許さぬ見直し、現状の受益者負担率との乖離を是正するための14年振りに見直すものであること、学童保育利用者を対象としたアンケートの結果からは、値上げに一定の理解を得られる見通しが示されていることなども、本案を肯定的に捉える判断材料とした。

少子化対策や子育て世代の負担軽減策がますます求められる折、多子軽減措置の適用を今後具体的に検討されることを期待し、賛成する。

《結果》

原案可決(全会一致)

質疑

Q どれくらい改善が見込まれるか。

A 当該地区は本年6月の集中豪雨により、延長約100メートルにわたり道路冠水が発生した。道路下にボックスカルバートを埋め込む工事により、局地的に冠水することは解消されると考えている。平成27年3月末までに完成予定である。

る道路冠水が発生する箇所があり、雨水対策工事を早期に実施する必要があるため、約5千万円を増額するもの。

派遣先も明確な目的も定まっていな中で予算要求を行った。姉妹都市・リパブル市との交流は5泊6日のうち1日だけで、本当に姉妹都市交流事業と言えるのか。派遣目的に「中斷している中学生海外交流事業の早期再開」を掲げているが、同事業は国際交流協会が責任をもって事業を行っており、税金を使つてまで議員が行わなくてはならないことではない。市民が納めた税金を議員が特権的に使つてはならない。

平成25年度戸田市の海外友好都市訪問は実質観光旅行であり、公費を支出すべきではないと住民監査請求が市民団体によつて起こされた。

日本共産党戸田市議団は市民団体の指摘を重く受けとめ、本決算認定に反対する。

榎本守明議員

海外派遣に当たつては、議会の代表として、友好・姉妹都市に議員を派遣することを決め、実務として、実施している。東日本大震災によつて中斷しているリパブル市との中学生の海外交流派遣事業の早期再開に向けて話し合うことが、今回の訪問派遣の大きなテーマとなつてきた。平成25年度は中学生がリパブル市に1日訪問しただけに留まつたが、26年度はリパブル市を訪問するとともに、リパブル市内のホテルに1泊しており、事業再開に向けて確実に前進している。さらに、中学生を海外に安心して送り出すことができるか、治安や安全性の現況を確認することは、行政をチェックする議会として当然の責務であり、この予算執行は適正なものであると考え賛成する。

意見書(委員会提出・議員提出議案)を国・政府に提出

◇原子力発電所再稼働に慎重かつ十分な審議を求める意見書

原子力発電所の再稼働の判断に当たり、安全性のさらなる検証を行うことなど、慎重かつ十分な審議を尽くすよう求めるものです。

◇軽度外傷性脳損傷に係る周知及び労災認定基準の改正などを要請し、適切な労災認定に向けた取り組みの推進を求める意見書

軽度外傷性脳損傷について、現状を踏まえて適切な措置を講ずるよう、3項目について要望するものです。

◇「危険ドラッグ(脱法ハーブ)」の根絶に向けた総合的な対策の強化を求める意見書

取り締まり体制の充実に係る意見書

◇(仮称)手話言語法の制定を求める意見書

手話が音声言語と同等な言語であることを広く国民に啓発し、手話を言語として普及研究することができる環境を整備するための「(仮称)手話言語法」を制定されるよう強く要望するものです。

◇(仮称)手話言語法の制定を求める意見書

手話が音声言語と同等な言語であることを広く国民に啓発し、手話を言語として普及研究することができる環境を整備するための「(仮称)手話言語法」を制定されるよう強く要望するものです。

◇産後ケア体制の支援強化を求める意見書

少子化対策を進めるに当たつて「産後ケア対策」は喫緊の課題であり、早急に確立する必要があるとして、出産後の女性の心身をサポートする「妊娠・出産包括支援モデル事業」を着実に実施することなど、3項目の実現を強く求めるものです。

5 ※早期健全化基準…財政状況が悪化した場合において、自主的・計画的に財政の健全化を図るべき基準として定められた数値です。

4 ※ボックスカルバート…道路下に埋設する断面が箱型の構造物

主な議案

意見書

委員会の審査から

一般質問

委員会視察レポート

主な議案

意見書

委員会の審査から

一般質問

委員会視察レポート

こんな質問、あんな意見もありました。

議案や決算、請願は、委員会に付託されて、慎重に審査されます。その経過と結果は、9月25日の本会議で各委員長から報告がありました。下記はその概要です。

総務

※各常任委員会の所管部署
政策秘書室・総務部・財務部・会計課・行政委員会事務局等

基金の残額や財政負担の

平準化を考慮し、起債を増額

【25年度決算】

総務費の一般管理費では、市長への手紙に係る要望等の実現について質疑が出され、執行部から、回答だけで終わるケースもあるので、今後市民の声に関する対応状況を管理できるよう工夫したいとの答弁がありました。

例の制定に当たって実施した活動を、今後の市民会議において参考とし、可能な限り自前で取り組みたいとの説明がありました。

防災費では、非常災害用井戸の設置数について質疑が出され、執行部か

ら、平成25年度に設置した菅原小学校で24基となり、市内小中学校は完備となったとの答弁がありました。

【26年度補正予算】

地方債の補正では、こども園再整備事業に係

る市債発行の考え方に於いて質疑が出され、執行部から、基金繰入金や繰越金の残額が少ないことから、財政負担の平準化を図るため、起債を増額したとの答弁がありました。

文教・建設

都市整備部
教育委員会

市民から親しまれる

図書館に

【25年度決算】

道路新設改良費では、自転車レーン整備工事について、交差点内の路面に設置された青い矢羽根マークの厚みを研究してほしいなどの意見がありました。

道路新設改良費では、自転車レーン整備工事について、交差点内の路面に設置された青い矢羽根マークの厚みを研究してほしいなどの意見がありました。

防災費の耐震診断・改修事業では、補助件数が少ない点について質疑があり、執行部から、25年度に実施したアンケート調査で、改修費用が掛かることも理由として挙げ

られていたので、改修補助金に係る限度額の見直しも検討していきたいとの答弁がありました。

教育指導費では、特色ある学校づくり補助金について、学校現場をよく見ながら、児童生徒の体力や健康という部分にも補助金を生かしてほしいとの意見がありました。

【図書館条例の一部改正】
上戸田分館の開館に關連して、図書館の今後の



▶上戸田分館の開館に伴い、平成27年8月に閉館する上戸田分室

展望について質疑があり、執行部から、指定管理者から出された良いアイデアを本館にも取り込めるよう、柔軟な姿勢で臨みたいとの答弁がありました。これに対し、上戸田分館が市民から親しまれる図書館になり、市全体として図書館は素晴らしいと言われるようになってほしいとの意見がありました。

委員会の審査から

総務常任委員会

文教・建設常任委員会

健康福祉常任委員会

市民生活常任委員会

健康福祉

子ども・子育て

支援新制度に関する、4つの新規条例を審査

【25年度決算】

AEDについて、盗難保険、メンテナンスについて質疑があり、執行部から、ほとんどの機械が動産総合保険に加入しており、また、電極パッドや電池の定期交換、定期点検を実施しているとの答弁がありました。生活保護のケースワーカーの増員について質疑があり、執行部から、1人増員となったとの答弁がありました。

受けました。保育に係る枠組みが大きく変わるもとので、保育事業者や保護者に制度内容が十分周知されていない現状があることから、さらに丁寧な説明を行っていくよう、委員会として要望しました。

【子ども・子育て支援新制度関連】

戸田市長家庭保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例を初め、4つの新規条例を審査し、子ども・子育て支援新制度について説明を

福祉部、子ども青少年部
福祉事務所
市民医療センター

市民生活

多様な声を聴き、

ふるさと祭りの

あり方の検討を

【25年度決算】

行政振興費では、委員から、今後のふるさと祭りについて、市庁舎の免震工事が終了することも踏まえ、とだわらび青年会議所と十分に協議し、より良いお祭りにしてもらいたいとの意見がありました。他の委員からは、現在のふるさと祭りに満足していない市民の声も聴き、今後のあり方を考えてもらいたいとの要望

がありました。防犯対策費では、下戸田交番の業務体制に関する質疑に対し、厳警察署長に申し入れを行い、パトロールが強化されたほか、明け方の休憩時間がなくなり、24時間体制になったとの答弁がありました。

商工業振興費では、委員から、商業

ものと決定しました。

【その他】

65歳以上で新たに障害認定を受けた方に対する医療費助成制度の見直しなど、一部改正条例7件、補正予算5件、請願2件を審査しました。

市民生活部・環境経済部
消防本部
上下水道部

活性化推進事業補助金について、持続的な集客につながるような工夫を促すべくとの意見があり、商店会の振興に向けたアイデア提案等を検討していきたいとの答弁がありました。

非常備消防費では、消防団員の確保に関する質疑に対し、広報活動等に職務を限定したり、任期を5年未満にするなど、女性や若い方が入団しやすい環境を整えるため、制度改正を検討しているとの説明がありました。



▲戸田ふるさと祭り（平成26年）

一般質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開く定例会市議会で、市政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

今定例会では、9月5日及び8日から10日の4日間をかけて、19人の議員が一般質問を一問一答方式で行いました。ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要です。一般質問の原稿は、質問者本人が執筆しております。

なお、一般質問の様子は、議会ホームページからご覧いただくことができます。



とだがききたい

主な議案

意見書

委員会の審査から

一般質問

委員会視察レポート

負担軽減はできないか

「対策を講じる必要がある」と思っている。

細田昌孝議員



議員 地域をまとめる、それぞれの色

を大切に現在まで継承している町会長・自治会長について、行政及び外郭団体等への参加協力要請等、年々大変になっているが、負担軽減はできないか。

市民生活部長 負担は

多いものと認識している。市としても対策を講じる必要があると思っている。

市民生活部長 早急にアンケートを実施し、

充て職など現状を把握した上で、見直しを検討していく。

議員 市内3駅や公共施設に電子掲示板などを設置。防犯・防災・交通情報等いろいろな角度から検証する価値があると思うが、市はどう考えているのか。

政策秘書室長 危機管理広報の視点や市からの情報提供を行うツールは多様で必要であると認識している。関係部署間で設置について研究する。

スクールの安全対策を

議員 スクールゾーンの指定箇所や通行許可書の周知徹底と通学路など、一目でわかる交通規制マップなどを作成してはどうか。

市民生活部長 蔵警察署及び関係課と調整し、検討する。



▲デジタル地図案内板(渋谷駅前)…上が情報画面、下が地図画面 (提供：一般財団法人ニューメディア開発協会)

避難勧告

実践的な防災教育、訓練の進化と充実を

「さまざまな場面を想定して実施」



議員 釜石の奇跡が証明しているように、「防災教育・訓練の進化と充実を図れ。」

子ども青少年部長 保育園では絵本の読み聞かせ、手作り教材を使い、理解に努めている。防災訓練は年間計画に沿って、月1回の開催。

教育部長 緊急地震速報受信装置を活用した訓練など、さまざまな場面を想定しての教育訓練を実施。

空振りを恐れず、早めの「避難勧告」発令を

議員 広島土砂災害

は、避難勧告の遅れが原因で犠牲者が増えた。日常的に市民の危機意識の徹底した啓発を。

三浦芳一議員

非破壊「道路下空洞・橋梁調査」の実施を

活用し早めの情報伝達に努める。また順次避難所開設を行っていく。

議員 道路下空洞・橋梁調査に、目視のみでなく赤外線の利用を。

都市整備部長 調査・研究に努める。

危機管理監 防災行政無線、緊急速報メール、ツイッターやフェイスブック、広報車などを

視覚障がい者」 「代読・代筆」 支援推進を

議員 金融機関や役所からの通知など、目が不自由で確認できずに困っている。支援策を。

福祉部長 情報利用のバリアフリー化として大切なサービスと認識。生活の実情に即した支援の提供に努める。



▶総合防災訓練(笹目十丁目町会)

町会長・自治会長

細田昌孝議員



議員 地域をまとめる、それぞれの色

を大切に現在まで継承している町会長・自治会長について、行政及び外郭団体等への参加協力要請等、年々大変になっているが、負担軽減はできないか。

市民生活部長 負担は

多いものと認識している。市としても対策を講じる必要があると思っている。

市民生活部長 早急にアンケートを実施し、

充て職など現状を把握した上で、見直しを検討していく。

議員 市内3駅や公共施設に電子掲示板などを設置。防犯・防災・交通情報等いろいろな角度から検証する価値があると思うが、市はどう考えているのか。

政策秘書室長 危機管理広報の視点や市からの情報提供を行うツールは多様で必要であると認識している。関係部署間で設置について研究する。

スクールの安全対策を

議員 スクールゾーンの指定箇所や通行許可書の周知徹底と通学路など、一目でわかる交通規制マップなどを作成してはどうか。

市民生活部長 蔵警察署及び関係課と調整し、検討する。



議員 「危険ドラッグ」が深刻な社会問題となっている。乱用者による事件・事故が後を絶たない。本市の現状は。

立ち入り検査を実施し8店舗が廃業、99サト販売店に対してはネット通販を中止と広告削除を求める警告メッセージを送付し、4サイトが廃止された。

市民生活部長 平成26年4月1日以降、戸田市内では8件の押収があった。販売店舗は存在しない。県の取り組みについては18店舗に

教育部長 7月28日には、文部科学省から薬物乱用防止教育の更なる充実について通知があり、本市では8月4日付で各学校に通知し、危険ドラッグの危険性について周知した。

議員 市のホームページなど危険ドラッグ防止に関する啓発を行うことはどうか。

市民生活部長 とだピースガードメールやホームページを通じ、情報発信を行っていく。

パパ・ママ応援シヨップ6県連携の周知徹底を

▲危険ドラッグ(埼玉県保健医療部薬務課薬物対策担当ホムヘシヨップ)



防止について 市民に啓発を 「市のホームページ等で行う」 竹内正明議員

危険ドラッグ

子ども青少年部長 周知に努め、取り扱いはどうか。

主な議案

意見書

委員会の審査から

一般質問

委員会視察レポート

認知症になっても安心して暮らせる街に

「サポート体制の充実を図っていく」

三輪 なお子 議員

認知症対策

議員 ① 徘徊する認知症高齢者への声かけ模範訓練を行ってはどうか②認知症サポーター養成講座と、この模範訓練を、セットで行ってはどうか。

福祉部長 ①他の自治体で取り組みされていることは承知している②講座は、年間10回以上開催、500人近く

の方が新たに受講され、これまでに約2500人のサポーターを養成している。模範訓練と認知症サポーター養成講座をセットで実施することについては、有意義な試みと思う。他市の実践など参考に、今後研究していく。

議員 小中学生のサポーター養成講座の受講を促進してはどうか。

福祉部長 まずは高齢



「命のひと声訓練」認知症徘徊模範訓練 志木市ポムヘーションより

者と小中学生の交流を促進し、認知症に対する理解を深める機会を充実させていく。

議員 認知症の方々と、その家族が気軽に、飲食を共にしながら交流が図れる「認知症カフェ」設置についてどう。

福祉部長 地域で生活する高齢者の居場所として、また家族が交流する場としても、その

夜間・休日也可以使用できるAEDの設置を

救急救命

平成27年度から屋外設置する

峯岸 義雄 議員

議員 公共施設に設置するAEDが使える環境への検討状況及びコンビニ



▲AED…心停止状態の心臓に電気ショックを与え、心臓の働きを正常に戻すための医療機器

二へのAED設置について伺う。

福祉部長 公共施設に設置されているAEDを、可能なものから屋外設置を進めていく。

各福祉センター、福祉保健センターは、来年度に屋外設置する。

消防長 現在、まちかど救急ステーション認定制度の創設を検討している。コンビニへのAED設置は、この事業の中で進められればと考える。

議員 AEDの必要性を十分認識していただき、市民の安心・安全なまちづくりのために

救急救命士の処置拡大2行為の早期対応を

も、ぜひ実現していたきたい。

議員 救急救命士が行う救命処置が2行為追加されるようだが、どのような救命処置なのか。

消防長 心肺停止前状態の重度の傷病者に対する静脈路確保と輸液

議員 本市において運用開始時期はいつごろか。

議員 本市のために一刻も早い対応をお願いする。

耐用年数を考慮し、計画的に買い替えを

「施設任せにせず市全体で管理する」

岡寄 郁子 議員

公共施設備品

議員 公共施設の新設が相次ぐ中、福祉センターなどの老朽化した施設では備品も古くなっている。物品の耐用年数を考慮して、計画的に買い替えや修繕を進めるべきでは。

福祉部長 福祉センターの備品に関してはいろいろな意見ももらっている。今までは各館



▲壊れた箇所をテープで補修しているテーブル (西部福祉センター)

ごとに備品の管理をしていたが、市全体のバランスを考えながら一斉点検を実施し、管理してきたい。

議員 産休代替や延長保育充実保育士などの未配置は改善したか。

子ども青少年部長 一部で保育士が不足している園もあるが、主任保育士の兼務などで対応しており

公立保育園の保育士不足の対応は

ほぼ体制が整った。

議員 来年度は上戸田保育園が廃止となり保育士10名が各園に異動するため充足できるとのことだが、再来年以降も見据えた保育士採用が必要ではないか。

総務部長 現在、採用試験中で、相当数の応募があった。業務が安定して行えるよう、若い世代の育成にも配慮して採用を行う。

市民活動サポート補助金の選考に外部委員を

議員 補助金審査委員に、市民活動やNPO活動に詳しい人材を。

市民生活部長 団体育成に有益と考えられるので前向きに検討する。

遊び場確保

放課後に校庭や体育館を開放しては

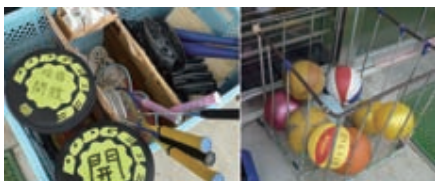
「週単位で複数日の開催を検討する」

真木 大輔 議員

議員 都市化が進み、子供たちの遊び場が減少する中、学校施設は子供が伸び伸びと遊べる貴重な空間である。

校庭や体育館を、放課後や夏休みに遊び場として開放してほしい。

子ども青少年部長 人員などでの課題はあるが、放課後については体育館等における週



▲安全管理員のもと、自由にボール遊びができます (豊島区立豊成小学校にて撮影)

登下校時の交通指導

法の統一を図っては。

教育部長 リーフレットは大変有効と考える。作成を検討する。

開票作業の不正防止

議員 先日、高松市で開票不正事件が起きたが、高松市以外でも開票ミスや開票不正が疑われる事象は存在する。①開票参観席に開票作業の説明図を掲示して

行政委員会事務局長

①掲示を考える②今後の社会情勢を見極めながら、ビデオカメラの設置について選挙管理委員会に諮れるよう、十分に準備をしていく③可能だが、巡回的な監視をお願いしていく。

単位で複数日の開催を、夏休みについては試行的な実施を検討する。

議員 交通指導は、交通ルールにのっとることで車に対する交通弱者保護の啓発を行い、また交通安全教育の理念のもとで子供たちに自衛の意識を育むことが望ましい。リーフレットを作成し、指導方

は②記録用カメラを設置しては③選挙管理委員に、不正の起りやすい計算係と整理係の重点監視を依頼しては。

意義は大きい。家族の実態やニーズを把握し検討していく。

議員 「がん」に特化した授業を取り組んではどうか。

教育部長 授業における「がん教育」のより一層の充実に努める。

主な議案

意見書

委員会の審査から

一般質問

委員会視察レポート

つばやき
性犯罪被害者の不条理な現実には支援を！



議員「性犯罪被害者のための暴力被害者のワンストップ支援センターとは、被害直後から産婦人科医療、相談・カウンセリング等の心理的

支援、捜査関連の支援、法的支援等を可能な限り一力所で提供することにより、被害者の心身の負担を軽減し、その健康の回復を図るとともに、警察への届出の促進、被害の潜在化防止を目的で設立されるもので、内閣府は、地方公共団体などに設置を求めている。しかし、県内では埼玉県が一つ設置しているだけで、市町村が設置主体になっていないものはない。設置の可能性はどうか。

市民生活部長 現状でできることの中で、性犯罪被害者の立場に立った対応ができるよう対策を講じていく。

議員 被害者が泣き寝入りせず相談できるような体制を、できるところから作ってほしい。



▲アイリスホットライン（公益社団法人埼玉犯罪被害者援助センターホームページより）

一般質問

医療・介護総合法
利用料が2割へと引き上がるが対象者数は「326人が対象となる」



議員「医療・介護総合法」の成立は、要支援者から訪問、通所介護を取り上げ、利用料を2割負担に引き上げるなど、負担増と給付削減の介護保険法の大改悪である。そこで、次の点について伺う。①訪問、通所介護が市の事業となり、予防給付事業ではなく。対象となる要支援者数と対応は②特養への入所対象が原則要介護3以上とされ、要介護1・2の方が入所できなくなるが、対象者数は③一定以上の所得者の利用料が2割へと引き上がるが、対象者数は。

議員「医療・介護総合法」の成立は、要支援者から訪問、通所介護を取り上げ、利用料を2割負担に引き上げるなど、負担増と給付削減の介護保険法の大改悪である。そこで、次の点について伺う。①訪問、通所介護が市の事業となり、予防給付事業ではなく。対象となる要支援者数と対応は②特養への入所対象が原則要介護3以上とされ、要介護1・2の方が入所できなくなるが、対象者数は③一定以上の所得者の利用料が2割へと引き上がるが、対象者数は。

本田哲議員
4月現在、要支援1と2を合わせて、784人のうち、訪問介護は約180人、通所介護は約260人が利用している。事業の移行によって、これまでのサービスが受けられなくなるとはならないように、十分に配慮していきたい。②要介護認定者のうち、要介護1・2の方は1217人である③326人の方が2割負担の対象となる。



▲訪問、通所介護が国から移管される市の長寿介護課

性犯罪被害者
ワンストップ支援で2次被害を防げ
「被害者の立場で対応を検討する」
遠藤 英樹 議員

議員 犯罪被害者に優しい日本社会において、支援の大きな力になるし、若い女性が安心して暮らせるまちを作っていくことは、自治体経営の観点からも意義のあることではないか。せめてマニュアル作りや研修を通じて、現在の業務の中で、

教育委員会改革

新教育行政制度の抜本的な改革とは何か
「迅速な対応が確実に進むようにする」
手塚 静枝 議員



議員 平成27年4月から教育委員会制度が大きく変わる。大津市のいじめ自殺問題で、緊急事態に機能果たせ

ないことや、責任の所在の不明確さ等が問われ、現体制では責任ある迅速な対応ができないとして改正に至った。新制度では、教育委員会制度の抜本的な改革が行われる。①改革の一番のポイントは何か②市長が設置する総合教育会議と大綱策定は③新「教育長」の議会同意や協議の協議結果等、議会への説明は④制度改正で、いじめによる自殺の防止等、迅速な対応が進むのか。

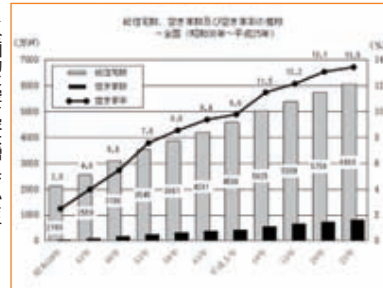
あるべき姿を共有し、密接に連携し責任を果たして②より一層市民や保護者の意志を反映した教育行政の推進を図る会議となる。大綱は会議で十分協議する③これまでも議会に説明してきたが、今後も適宜行っていく④いじめ問題への対応の組織や体制が整っているが、今後、さらに迅速な対応が確実に進むようにしていく。

消費者教育の充実を

議員 消費者がトラブルに巻き込まれる件数が増える中、その対策など消費者教育は遅れている。子どもや若者が一人の消費者として行動できる。消費者教育の充実について、本市の取り組みを伺う。

議員 消費者がトラブルに巻き込まれる件数が増える中、その対策など消費者教育は遅れている。子どもや若者が一人の消費者として行動できる。消費者教育の充実について、本市の取り組みを伺う。

議員 条例化に向けて、空き家問題の総合的な窓口を設置する考案があるか。



消費生活出前講座（世田中学校）
教育部長 ①市長が任命する新「教育長」を置き、教育の課題や教育の

議員 消費者がトラブルに巻き込まれる件数が増える中、その対策など消費者教育は遅れている。子どもや若者が一人の消費者として行動できる。消費者教育の充実について、本市の取り組みを伺う。

空き家対策

条例化に向けて総合的な窓口の設置を
「委員会において検討を進める」
石川 清明 議員

議員 埼玉県内では19市町で空き家の適正管理に関する条例を施行している。戸田市の条例化に向けての取り組みについて伺う。

議員 条例化に向けて、空き家問題の総合的な窓口を設置する考案があるか。

校区福祉委員会を 設置できないか

「本市の実情を見ながら考えたい」
望月 久晴 議員

地域福祉

議員 今、地域社会では、高齢化が進み、孤立化が進む中で、生活困窮、引きこもり、ごみ屋敷等、既存の制度だけでは救うことが難しい状況があるが、地域福祉の課題をどう考えるか。

福祉部長 1点目に地域のつながりの希薄化、2点目に住民の福祉ニーズの多様化、3

点目に地域福祉の活動を担う人材不足がある。

議員 豊中市では、小学校区単位に町会、PTA、民生・児童委員、民間事業者、各種団体などで組織された校区福祉委員会が大きな役割を果たしている。戸田市でも校区福祉委員会を設置できないか。

福祉部長 本市の地域福祉の実情を見ながら、考えていきたい。

議員 豊中市では校区福祉委員会が小学校区単位で「福祉なんでも相談窓口」を設置している。専門の問題は地域ネットワーク会議にかけて解決に結びつけている。また、コミュニティソーシャルワーカー(CSW)が中学校区に配置されて、相談に來れない人を訪問して、大きな成果を上げていく。戸田市でもこうした制度をつくれ

福祉部長 戸田市では民生委員を初め各分野で専門の窓口が対応しており、連携が図られている。コミュニティ

ソーシャルワーカーは重要だが、財源が必要であり、社会福祉協議会と協議して研究したい。

戸田市地域福祉計画



ちびっ子プール

町会運営から 業者委託に出来ないか

「業者委託する考えはない」

馬場 栄一郎 議員

議員 ちびっ子プールは、町会内の親と子の触れ合いの場として、また、近隣社会の意識の高揚と健康で心豊かな人間づくりに寄与する目的で、町会の要望により、管理運営体制が整った箇所から順次設置されてきた。近年場所によっては運営に大変苦慮しているところもある。市が運営し

な人間づくりに寄与する目的で、町会の要望により、管理運営体制が整った箇所から順次設置されてきた。近年場所によっては運営に大変苦慮しているところもある。市が運営し

議員 プールは設置以來、約40年が経過している。今後、大規模修繕を実施する考えはない。

環境経済部長 軽微な修繕は実施していくが、大規模な修繕工事

は多額の費用がかかる

議員 長年、親しめてきた学校プール開放が平成23年に中止され、その後、事業廃止。夏休みの子どもの居場所の観点から、学校プール開放を再開しては

議員 学校プールの活用で、ちびっ子プールの縮小廃止が可能となり、財政負担の軽減につながるのではないかと

市民生活部長 公共施設の適正配置の観点から、調査研究する。



ちびっ子プール (平成25年 専断公園にて)

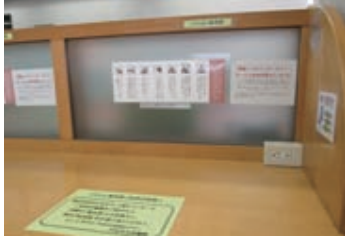
無線LANインターネットサービスの改善を

「より利用しやすい環境を検討する」
中山 祐介 議員

公衆無線LAN

議員 公共施設でインターネットを利用できる環境が整備されているが、無線LANが利用しやすいという意見がある。改善は

議員 共施設でインターネットを利用できる環境が整備されているが、無線LANが利用しやすいという意見がある。改善は



図書館のパソコン専用席。本庁舎やさくらホールでも利用できます。

総務部長 12月にUSB機器や専用ソフトを使用せず、持ち込み端末の内蔵無線LANを用いて、安全性を確保しながらID・パスワードで簡易につなげることができるとの導入をすすべく、調整を進める。

議員 災害時に本庁舎や避難所の無線LANを開放できないか。

総務部長 災害時とい

う理由からセキュリティなど課題も多いが、危機管理防災課並びに関係各課と協議しながら検討していく。

スポーツセンターで学校部活動の連合利用を

議員 砲丸投げや高飛びなど県体の種目になつていないが、用具・設備がないため市外の施設を利用してはいる部活動がある。同部で連合

を組織することでスポーツセンターを利用し市内で完結できないか。

市民生活部長 陸上競技場は一般の方も多数利用しているが、占用する曜日や時間帯、頻度等を、管理者側も含めて協議の上での利用は可能だと考える。

教育部長 部活動において他校と連携して合同で練習する利点がある。

新こどもの国

子供の外遊びができるよう検討を 運営委員会で使い方を協議する

金野 桃子 議員

議員 保護者から外遊びを求める声が多い。5年前よりボール遊び

禁止等が禁止された。新しいこどもの国ではボール遊び等を最初から禁止とするのではなく、中高生や市民も公募し



た運営委員会で、ボール遊びや泥遊び等、子供の外遊びについて検討を。

議員 市が公表する受診率43・2%は就業者を母数から抜くため、

女性医師による子宮がん検診を

議員 市が公表する受診率43・2%は就業者を母数から抜くため、

実際に市内の4割強の人が受診しているわけではない。実際の受診率は6・4%(20歳)等全体的に低く、昨年度は728人分の予算が余っている。市指定の医療機関で女性医師を選べるのは1カ所で週1回のみ。女性医師リストの同封、他自治体での検診も助成を。

福祉部長 受診集中を避けるためリストではなく問い合わせで対応。

福祉部長 クーポン対象者のみとしたい。口コミ等、議員提案を参考に周知する。

主な議案

意見書

委員会の審査から

一般質問

委員会視察レポート

つぶやき
将来へつながる
一貫した支援へ



議員 戸田市の特別支援教育に関する課題と別支援教育振興計画を立て進めるべき。①中学校に情緒通級指導教室を設置すべきでは②特別支援学級の全校設置を。



▶今年4月に設置された2カ所の通級指導教室
(発達・情緒・美谷本小学校)

児童保育の充実を

一般質問

ファシリテーター

計画的な育成を
考えてはどうか
「協働を担える人づくりを進める」

斎藤直子議員

このつとつた通訳等のボランティア育成と体制作りの起爆剤になる取り組みをしているか。

市民生活部長 まだ段階の取り組みは行っていないが、戸田市ボランティア・市民活動支援センターなど既存の機能の活用で積極的な情報収集・発信をしていき、市全体として「おもてなし」ができるようにしていきたい。

つぶやき
海外勤務経験者や外国人住民の力も借りたい



議員 フアシリテーターの育成を考えてはどうか。

議員 東京五輪決定からはや1年。オリンピック・レガシーの概念

に増やしたい。また、積極的に地域の課題解決に取り組み団体や、地域コミュニティづくりに積極的な方が活躍できるデビューの場づくりなども進めていきたい。

議員 わくわく楽しみながら2020年を迎える仕掛けや、開催期間は夏休みで花火大会や盆踊りなど祭りの時期であることから子供を含む市民力が結集する機会となるよう要望。

中学校に発達・情緒通級指導教室の設置を
「実際のニーズを踏まえ検討する」
花井伸子 議員

特別支援教育

教育部長 ①埼玉県内の中学校418校のうち発達・情緒通級指導教室の設置があるのは19校と設置状況は多くなく、生徒本人の希望により通級希望が少なくなるということがある。実際のニーズを踏まえ、引き続き検討する②教育委員会内部で3・4年先まで見通し、市全体の状況を見ながら設置校を検討していく。

子ども青少年部長 ①定員を上回る見込みの地域へ民間児童保育室を新たに誘致し、需要に対応する②今後においても検討していく③定員を超えた場合の対応については、指数により低学年やひとり親家庭等を優先するが、できるだけ入室できるように努める。

総務部長 協働の実践の場であった自治基本条例のような取り組み等ができるだけ多く立ち上げ、市民の中からもファシリテーターとして協働のまちづくりを担えるような人づくりを進めたい。今後は、第4次総合振興計画後期基本計画協働会議のような、市民、議会、行政が一堂に会する機会を通じて、人材を徐々



▲昭和39年の東京オリンピック開催に向け、ポートコースに球根を植える青年会（戸田市立郷土博物館所蔵）

空き家管理

危険回避へ適正管理を

「条例化に際しては実効性高めたい」

高橋秀樹議員

都市整備部長 ①通行量も多く、歩道橋を撤去しての平面交差は、通学路でもあり難しい。撤去してもよいとの考えがある。



議員 空き家で無施錠の物件等は非行のたまり場になり、たばこの火の不始末で火災の危険もある。樹木の繁茂で近隣に迷惑をかける。虫の発生源になっている。①空き家の担当窓口を一本化する②空き家等適正管理に関する条例の制定は③条例に、立ち入り調査、樹木の伐採、強制執行による解体等を盛り込む考えは。

歩道橋の撤去と交差点の改良を

議員 笹目川にかかるオリンピック通りの沿道に改良はできないが②この交差点は③差路で、信号処理も3回処理しており、オリンピッ

都市整備部長 ①通行量も多く、歩道橋を撤去しての平面交差は、通学路でもあり難しい。撤去してもよいとの考えがある。

つぶやき
市広報の配布と防災対策を全ての世帯に!!



議員 マンション等、集合住宅の住民は町会加入率が低く、地域コミュニティへの無関心が問題となってきた。町会に未加入のマンションも多数存在しているが、その一部は自主的にコミュニティ活動を行っている。しかし戸田市においては、そうした活動に支援の手が差し伸べられないこと、防災対策が進まない原因にもなっている。市広報の配布を受けられないマンションも多い。そこで、従来からの枠組みを変更し、町会のみならずマンションにおけるコミュニティ活動にも支援を行うてはどうか。

市民生活部長 検討すべき課題である。町会に未加入のマンションの場合、まずはマンション内のコミュニティ活動を活性化し、その上で町会加入を促していくことも必要ではないか。どのような支援ができるか、調査・検討を進めたい。

児童保育における指導員の人材確保

議員 児童保育の環境は、指導員の質に大きく左右される。採用時の倍率は例年1.0〜1.3倍と低く、一定水準の人材が採用できているのか疑問である。採用方法や賃金水準を見直し質の高い人材の確保を目指す。

都市整備部長 ①総合窓口の必要性について検討する②空き家対策の条例化は必要と考え③条例化に際しては、課題解決が図られるよ



▲富士見歩道橋（オリンピック通り）

マンション等のコミュニティ活動推進を

「方法を検討したい」
酒井郁郎 議員



▶戸田市民の貴重な情報源「広報戸田市」配達されない世帯が多数あります

子ども青少年部長 募集方法を検討したい。

委員会 視察レポート

閉会中に実施した視察について、8月27日の本会議冒頭に各委員長から報告がありました。その概要は次のとおりです。

交通対策特別委員会

若手県盛岡市／青森県八戸市

高齢者への公共交通利用 促進策で、外出機会も増加

盛岡市は、市内在住の70歳以上の高齢者が



▲7月9日 盛岡市役所にて

「まちなか・おでかけバス」を購入することで、自宅近くのバス停と中心市街地エリア間の行き帰り等が、最長半年間乗り放題になる事業等に取り組んでおり、アンケート調査では、利用者の多くが、外出の機会が増えたと回答していました。八戸市は、平成21年度に策定した第1次八戸市地域公共交通総合連携計画に基づく多くの事業に取り組んでお

り、その一環として、新幹線の八戸駅と中心街を結ぶ市営バスと民間バスのダイヤを、10分ごとの等間隔運行に組み直したことで、利便性が向上し、黒字化していました。

議会改革特別委員会

北海道白老町／北海道芽室町

開かれた議会を目指し、 様々な議会改革を積極的に実施

白老町議会では、「開かれた議会・信頼される議会」を目指し、議会改革に取り組んでいました。その中で、移動常任委員会の開催、自治基本条例における

員会活動」の3点に重点を置き、議会活性化計画を推進してまいりました。その中で、議会基本条例の自己評価と議会白書の作成、議会サポーター制度の導入、大学との連携、議会だよりの毎月発行など、様々な改革を進めていきました。

【意見・感想】

両町議会の取り組みについて、本市議会においても参考となる部分が多数あるとの認識に至り、今後も協議を



▲7月10日 芽室町議会にて

進めていくこととなりました。

知っtocoクイズ当選者

6月定例会号「知っ toco クイズ (No.1)」の正解は、問1「臨時」、問2「市民」でした。

正解者である次の方にクオカードを贈りました。

- ・永江琢磨さん
- ・加藤みすずさん
- ・平田森裕さん
- ・三浦隆博さん

※次回の知っ toco クイズは、12月定例会号 (平成 27年1月31日発行) です。

【請願の結果】

【採択 (2件)】

◎原子力発電所再稼働に慎重かつ十分な審議を求める意見書の提出を求める請願

◎「手話言語法」制定を求める意見書を国に提出を求める請願

▼新聞への消費税軽減税率適用を求める意見書の提出を求める請願

▼消費税増税の撤回を求める意見書提出を求める請願

▼集团的自衛権行使容認の閣議決定の撤回を求める意見書を国に提出してほしい旨の請願

▼「特定秘密保護法の廃止を求める意見書」の提出を求める請願

▼集团的自衛権に関する「取り下げ (2件)」集团的自衛権に関する

る憲法解釈の変更に対する反対する意見書の提出を求める請願

▼介護保険要支援者への保険給付を継続するよう国に意見書の提出を求める請願

分) ◎集团的自衛権の行使容認に関する意見書提出を求める請願

議会モニター募集

○本会議や委員会を傍聴したり、議会だよりや議会ホームページをご覧いただいて、意見や提言の提出などをしていただきます。

【応募資格】

- 次の①②の要件を満たしている方
- ①18歳以上の市内在住・在勤・在学している方(ただし、公務員は除く)
- ②議会の仕組みとその運営、市政や地域社会の発展に関心のある方

○【募集人数】 15人以内

○【任 期】 平成27年1月1日から1年間
※報酬なし(図書カード進呈)

○【募集締切】 平成26年11月20日(木)

【申し込み】

「応募票」に住所、氏名、年齢、性別、職業、応募理由、自己アピール等を記入して、議会事務局へ直接持参、郵送、FAX、電子メールで応募してください。応募票は議会事務局で配布しています。ホームページからダウンロードもできます。
※議会事務局の住所、FAX、電子メール、ホームページは、20ページの欄外をご覧ください。

【選考方法】

書類選考の上、決定し、結果は応募者全員へ通知します。

第23回全国市町村 交流レガッタ大潟大会

議員グループが ボートのまち戸田をアピール!

9月20日、21日の2日間、秋田県営大潟漕艇場で25市町村が参加して、第23回全国市町村交流レガッタ大潟大会が開催され、戸田市議会は「サクラソウ」と「モクセイ」の2グループが市民グループとともに参加しました。「モクセイ」は残念ながら敗退しましたが、「サクラソウ」は準決勝に進出、見事6位入賞を飾り、「ボートのまち戸田」をアピールしました。



▲準決勝で力漕する「サクラソウ」(奥側)

美里町議会との心温まる交流会!

議員互助会では、7月18日、姉妹都市提携をして今年で満22年目を迎える美里町との議員交流会を美里町で開催しました。

梅雨明け前の曇り空の中、営農型太陽光発電施設・遺跡の森館・美里中学校の視察と意見交換会を行いました。意見交換会では、両市町の現状や課題等について意見交換し、大変有意義な交流会となりました。



▲美里町との意見交換会

主な議案

意見書

委員会の審査から

一般質問

委員会視察レポート

主な議案

意見書

委員会の審査から

一般質問

請願の結果

議会日誌

- 7月**
- 1日 香川県観音寺市議会視察来庁
 - 2日 奈良県橿原市議会視察来庁
 - 7日 戸田競艇組合議会議会運営委員会／市民生活委員会／議員互助会（普通救命講習Ⅰ）
 - 9日 山形県河北町議会視察来庁
 - 9日～10日 特別委員会視察（交通対策／議会改革）
 - 14日 戸田競艇組合議会／議会広報委員会
 - 17日 総務委員会
 - 18日 美里町議会との友好交流事業
 - 22日 議会広報委員会／文教・建設委員会／戸田市子ども議会
 - 23日 議会改革特別委員会
 - 24日 山梨県甲州市議会視察来庁
 - 28日 健康福祉委員会視察（市内）
 - 29日 議会モニターとの意見交換会
 - 30日 健康福祉委員会／石川県能美市議会視察来庁
市民生活委員会（市民活動団体との意見交換会）
 - 31日 福島県須賀川市議会視察来庁

- 8月**
- 4日 茨城県牛久市議会視察来庁／埼玉県白岡市議会視察来庁
 - 18日 蕨戸田衛生センター組合議会議会運営委員会／議会改革特別委員会
 - 20日 交通対策特別委員会／議会運営委員会／常任委員会（総務、文教・建設、市民生活）
 - 21日 東京都日野市議会視察来庁
 - 22日 戸田競艇組合議会議会運営委員会
 - 25日 健康福祉委員会／埼玉県川口市議会視察来庁
 - 26日 議会運営委員会／戸田競艇組合議会
 - 27日 本会議（議案説明）／議会運営委員会
 - 28日～29日 戸田競艇組合議会議会運営委員会視察
 - 29日 蕨戸田衛生センター組合議会

- 9月**
- 2日 山梨県笛吹市議会視察来庁
 - 4日 本会議（議案質疑）／委員長会議／議会広報委員会
 - 5日、8日～10日 本会議（一般質問）
 - 9日、10日 議会運営委員会
 - 11日～12日、16日～17日 常任委員会（総務／文教・建設／健康福祉／市民生活）
 - 12日 各派代表者会議
 - 18日 特別委員会（交通対策／議会改革）／議会運営委員会
 - 20日～21日 第23回全国市町村交流レガッタ大潟大会
 - 22日 戸田競艇組合議会議会運営委員会
 - 25日 総務委員会／本会議（委員長報告、討論、採決）

題字を書いてくれた人

とだ



今回、題字として自分の字が選ばれてうれしいです。「とだ」という文字の形やバランスが難しかったので、気を付けて書きました。特に「と」のバランスをとるのが難しかったです。今まで習ってきた書道を活かすことができ、本当に良かったです。

戸田東中学校 3年 こばやし さより 小林 采依さん

Q「題字を書いてくれた人」は、どうやって選んでいるの？

A小中学生に題字を書いてもらうことにした平成23年6月定例会号の時点で、戸田市内にある小学校12校と中学校6校の、題字を書いてもらう順番を決めました。その順番に基づいて、毎回、学校長に依頼をしています。

12月定例会の予定

※日程は変更になる場合があります。

11月25日（火） 本会議（議案説明）
12月2日（火） 本会議（質疑）

3日（水） 本会議
4日（木） 本会議
5日（金） 本会議
8日（月） 常任委員会
9日（火） 常任委員会
10日（水） 特別委員会
16日（火） 本会議（討論・採決）

気軽に市役所へ傍聴においでください。



実
今年の秋に感謝！
今年はいよいよ秋の味が感じられる。今年もおいしい実が実る。今年もおいしい実が実る。今年もおいしい実が実る。

秋、どことなく涼しくなってきました。秋、どことなく涼しくなってきました。秋、どことなく涼しくなってきました。秋、どことなく涼しくなってきました。秋、どことなく涼しくなってきました。

秋、どことなく涼しくなってきました。秋、どことなく涼しくなってきました。秋、どことなく涼しくなってきました。秋、どことなく涼しくなってきました。秋、どことなく涼しくなってきました。

秋、どことなく涼しくなってきました。秋、どことなく涼しくなってきました。秋、どことなく涼しくなってきました。秋、どことなく涼しくなってきました。秋、どことなく涼しくなってきました。

秋、どことなく涼しくなってきました。秋、どことなく涼しくなってきました。秋、どことなく涼しくなってきました。秋、どことなく涼しくなってきました。秋、どことなく涼しくなってきました。

秋、どことなく涼しくなってきました。秋、どことなく涼しくなってきました。秋、どことなく涼しくなってきました。秋、どことなく涼しくなってきました。秋、どことなく涼しくなってきました。

秋、どことなく涼しくなってきました。秋、どことなく涼しくなってきました。秋、どことなく涼しくなってきました。秋、どことなく涼しくなってきました。秋、どことなく涼しくなってきました。

（掲載した写真を差し上げます。詳しくは議会事務局まで）
本紙は環境に配慮し、再生紙と「大豆油インキ」を使用しています。